

愛媛大学 公開講座 「照明の科学と文化」

地球環境を守るためにCO₂の排出削減が求められています。身近な照明においても、省エネルギーや効率を考えることが必要です。そのため、高効率の蛍光灯や新しいLEDランプなどが開発され、普及してきています。

家庭や公共の場などの生活空間・社会空間での照明は、安心・安全をもたらし、安寧性、快適性あるいは活動性を生み出す重要な役割を担っています。色々な光源を上手に使うことによって、人間の生活にとってより質の高い光環境を創り出すことができます。

この公開講座では、身近な照明のハードウェアやソフトウェアについて、みなさんに興味をもってもらい関心を高めてもらえるように、各分野の専門家が、今注目を集めているLEDなどの光源の仕組みから、その上手な利用の仕方、照明デザインや光環境と人の心理、さらに植物工場や医療などへの光の応用まで、幅広いトピックスをわかりやすく解説します。

日時	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
	8月28日(土) 13:00~16:00	9月4日(土) 13:00~16:00	9月11日(土) 13:00~16:00	9月18日(土) 13:00~16:00	9月25日(土) 13:00~16:00
	工学部4号館1階	工学部4号館1階	工学部4号館1階	工学部4号館1階	共通教育講義棟
	18番講義室	18番講義室	18番講義室	18番講義室	23番講義室

聴講料：無料（どなたでも、各回ごとに自由に受講できます。）

申し込み：不要（事前の申し込みは不要ですので、直接会場にお越しください。）

なお、満席の場合には、入場できないことがありますので、あらかじめご了承ください。）

問い合わせ先：愛媛大学工学部電気電子工学科 教授 神野 雅文

電話 089-927-9769 e-mail: mjin@mayu.ee.ehime-u.ac.jp

日付	テーマ	開始	題目	講師	所属
8月28日(土)	照明の感性と科学	13:30	はじめに(照明の科学)	橋 邦英	愛媛大学工学部
		14:30	照明の感性とデザイン	松下美紀	松下美紀照明設計事務所
9月4日(土)	新しい光源と特性	13:00	LED・有機EL光源	下村 哲	愛媛大学工学部
		14:05	放電光源	神野 雅文	愛媛大学工学部
		15:10	光と光源の計測	本村 英樹	愛媛大学工学部
9月11日(土)	照明の実際	13:00	環境と照明	松島公嗣	パナソニック電工 照明事業本部 中央照明 エンジニアリング総合部
		14:30	四国の照明	田部 泉	宮地電機研究開発室
		15:45	Q&A	橋 邦英	愛媛大学工学部
9月18日(土)	照明の新しい応用	13:00	工業・環境技術への応用	湯浅 邦夫	ハリソン光技術研究所
		14:05	農業への応用	羽藤 堅治	愛媛大学農学部
		15:10	医療への応用	橋本 公二 宮脇 さおり	愛媛大学医学部
9月25日(土)	光環境の情報と心理	13:00	あかりと心理	井上 容子	奈良女子大学生生活環境学部
		14:30	視覚情報と照明	古荘 雅生	神戸大学海事科学部
		15:45	Q&A	神野 雅文	愛媛大学工学部

講師のプロフィール

- **橋 邦英** (愛媛大学大学院理工学研究科 プラズマ・光科学研究推進室室長・教授)
照明学会会長、京都大学名誉教授。専門はプラズマ科学。プラズマの基礎と応用技術の研究を進めてきたが、最近では、プラズマの医療応用や水産応用の研究を展開している。
- **松下美紀** (松下美紀照明設計事務所・代表取締役)
照明デザイナー。日本だけでなく広くアジアの各国で公共施設などの照明デザインを数多く手がけており、照明デザインを科学的に捉えることを目指している。
- **下村 哲** (愛媛大学大学院理工学研究科電子情報工学専攻・教授)
専門は、ナノエレクトロニクス。ナノ構造半導体の作製、物性評価、デバイスの作製と性能評価などの研究に従事。量子細線面発光レーザーの開発などを推進している。
- **神野雅文** (愛媛大学大学院理工学研究科電子情報工学専攻・教授)
専門はプラズマ科学。無水銀蛍光光源の開発や光源プラズマの計測・診断を行っている。最近では、光源の物理をベースにした照明の心理面の研究も進めている。
- **本村英樹** (愛媛大学大学院理工学研究科電子情報工学専攻・助教)
専門はプラズマ科学。光源プラズマや大気圧非平衡プラズマの計測・診断などの研究に従事。
- **松島公嗣** (パナソニック電気株式会社 照明事業本部中央照明エンジニアリング総合部・参事)
照明環境の評価、照明と環境の総合的な制御などの研究、照明ソフトの開発に多くの実績をもつ。
- **田部 泉** (宮地電機株式会社 研究開発室 照明・LED担当室・室長)
照明環境の評価や、LEDを用いた新しい照明器具や光環境の開発を行っており、四国を中心に多くの実施例を有している。
- **湯浅邦夫** (株式会社ハリソン光技術研究所・所長)
多くの放電型光源の研究開発をリードしてきたが、最近では、有機ELなどの新しい固体照明光源の開発と光の産業応用の研究を進めている。
- **羽藤堅治** (愛媛大学大学院農学研究科施設生産システム学専攻・准教授)
植物工場におけるデジタル画像や人工知能を使用した栽培サポートシステムの研究に従事。
- **橋本公二** (愛媛大学大学院医学系研究科医学専攻感覚皮膚医学分野・教授)
細胞増殖因子を中心とした、表皮角化細胞の増殖と分化の研究、その臨床応用として人工皮膚の開発を進め、特に、表皮角化細胞の増殖と分化の制御手法に光を用いる研究を行っている。
- **宮脇さおり** (愛媛大学医学部付属病院抗加齢センター・主任医師)
加齢の重要な要因である皮膚の健康を維持するため、光による皮膚の診断や治療に関する研究に従事。
- **井上容子** (奈良女子大学生活環境学部住環境学科・教授)
照明学会副会長。視環境計画に関する研究を中心に、特に明視性(みえること)と快適性の両面において質の高い生活環境の提供を目的として研究を行っている。
- **古莊雅生** (神戸大学大学院海事科学研究科付属国際海事研究センター・教授)
海上交通システムにおける視認性が船舶の安全に及ぼす影響に関する研究に従事。海上交通心理学の研究にも造詣が深く、船舶事故の原因と防止に関する研究も行っている。